

会 員 各 位

公益社団法人 日本医療ソーシャルワーカー協会

会長 早坂 由美子

第 74 回公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会

第 46 回日本医療社会事業学会

大会長 小泉 進（岩手県医療ソーシャルワーカー協会）

（公印省略）

第 46 回日本医療社会事業学会演題募集のお知らせ

秋冷の候、会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のことと拝察申し上げます。

さて、2026 年 6 月 13 日（土）、14 日（日）に「マリオス・盛岡市民文化ホール」（岩手県盛岡市）にて開催されます全国大会と同時開催する標記の学会演題を今年も募集致します。

つきましては、会員の皆様より、実践研究・報告書、多数お寄せ頂きたく、ここにお願ひ申し上げます。

記

1. 発表者および共同研究者の資格

発表者および共同研究者は日本医療ソーシャルワーカー協会の会員（2025 年度までの年会費完納）に限ります。

なお、発表者は 1 名に限ります。発表途中の交替は一切認めません。

2. 発表について

今年度は口演のみ募集いたします（申込状況や査読の結果、ご希望に添えない場合があります）。当日現地発表、質疑応答を行う予定です。また、当日のオンライン配信およびオンデマンド配信はありません。

3. 募集内容

1) 以下のカテゴリーのいずれかを選択して作成してください。

- ①人権とソーシャルワーク
- ②ソーシャルワーク実践（事例検討を含む）
- ③ソーシャルワークリサーチ
- ④教育・スーパービジョン
- ⑤業務分析・業務開発
- ⑥その他

2) 分科会の演題発表時間は 8 分(質疑応答 2 分 計 10 分)を予定しております。

3) 未発表のものに限ります。また、抄録提出の段階で結論が出ていないものは認められません。

4) 複数の演題にまたがった発表の場合も、一演題完結の発表とします。

4. 抄録申込内容について

- ①選択したカテゴリー番号と名称
- ②演題名
- ③発表者氏名
- ④発表者名ふりがな
- ⑤発表者の日本協会会員番号
- ⑥医療ソーシャルワーカー経験年数

⑦共同研究者氏名（会員番号も記入）・共同研究者所属機関名

⑧発表者所属機関名、〒、住所、所属部署名、TEL、FAX

⑨パワーポイントの使用の有無（他のプレゼンテーションはご用意できません）

※注 パワーポイントのバージョンにご留意ください。なるべく最新のものをご使用ください。

⑩キーワードは3つご記載ください。

⑪発表内容の概要

発表内容は【目的】【方法】【倫理的配慮】【結果】【考察】【結論】（必要時には【事例】等の項目も加えてください）等の形式に則って作成してください。図表は使用できません。特に、倫理面での配慮（倫理委員会の承認等が必要です）についての記載をお願い致します。

⑫文字数は1,500字以上1,700字以内に収めてください。

⑬引用文献も上記文字数に含めてください

※発表する際には、当協会制定（2020年）の「ソーシャルワーカーの倫理綱領」に基づき、「調査研究倫理指針」に準じて、研究倫理審査を経るよう努めてください。

5. 応募方法

当協会のホームページ（URL：<https://www.jaswhs.or.jp/>）の会員サイトの「日本医療社会事業学会演題募集案内」→「第46回日本医療社会事業学会演題募集案内」から「学会演題申込書フォーム」に必要事項をご記入の上、ご応募ください。

※学会演題申込時に抄録内容も同時に投稿することになっていますのでご注意ください。（文字数は1,500字以上1,700字以内）

6. 募集期間

2025年11月10日（月）～2026年1月12日（月）24時まで

※1月12日（月）24時の締め切り時間内にすべての申込内容の登録を完了する必要があります。

7. 採否のお知らせについて

日本医療ソーシャルワーカー協会研修統括事業部で投稿規定に則っている抄録であるか等査読を行い、採否を決定し、2026年3月中旬までにご連絡いたします。

8. その他

※ご提出頂きます抄録の著作権は（公社）日本医療ソーシャルワーカー協会に帰属します。

※ご提出頂いた発表のパワーポイントデータは、事務局で責任を持って管理し、発表終了後には消去いたします。

※事例・プライバシー等の情報取り扱いについては、「日本医療社会事業学会 研究発表等で事例を取り扱う際の注意事項」を必ずご確認ください。

【お問い合わせ先】

（公社）日本医療ソーシャルワーカー協会 事務局

〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷ヂンゴビル 2F

TEL：03-5366-1057 FAX：03-5366-1058

E-mail：jaswhc@d3.dion.ne.jp URL：<https://www.jaswhs.or.jp/>

日本医療社会事業学会 研究発表等で事例を取り扱う際の注意事項

1. 事例作成上の注意

- ① 事例における利用者等の氏名、住所地、利用施設（機関）、援助者等の氏名、所属先名称等の固有名詞は、原則として無作為のアルファベットで表記し、個人、地域、施設等が特定されることがないようにする。
- ② 援助者等の所属する施設名（機関名）及び職名、援助者が提供するサービス名称等は、原則として固有名詞ではなく、法律上の名称とする。
- ③ 利用者等の生年月日を記載する必要がある場合には、生年までとする。
- ④ 利用者等の年齢は、特に必要な場合を除き、〇〇代前半（半ば・後半）とする。

2. 事例作成のための情報収集上の注意

- ① 事例を発表で用いる場合には、必ず患者本人の同意を得る。
- ② 事例作成のために利用者の個人情報収集する場合は、目的を明確にしたうえ原則として文書で利用者本人の同意を得る。また目的にそった情報収集を行い、収集した情報は慎重に扱う。
- ③ 利用者以外から収集した情報については、その事実関係や客観性を確認した上で活用する。

3. 事例を発表に用いる際の注意

- ① 発表者は、倫理的配慮として、事例を発表することについて、必ず所属施設（機関）（上長、責任者、施設長等）の承諾と、倫理委員会の承諾を得るようにし、承認があった内容については抄録へ記載する。
- ② 発表にあたっては、援助経過や援助内容のリアリティを損なうことがない程度に事例を加工して用いる。
- ③ 発表者は上記 1、2 の注意を遵守し、個人情報に特段配慮の上、発表を行う。

参考・引用

「厚生労働省 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」
「社団法人日本社会福祉士会 会員が実践研究会等において事例を取り扱う際のガイドライン」

日本医療社会事業学会 演題申込から学会当日までのフローチャート

